

**SS 研教育環境分科会 2012 年度第 1 回会合**
**「学生を ICT でどう支援していくか - ライフログを活用した日常的な学生支援 -」**

~ SS 研会員、IS 研会員、CS 研会員機関の方ならどなたでもご参加いただけます ~

**■ 日時 : 2012 年 9 月 3 日(月) 分科会 13:30~17:55 (受付 13:00~) / 懇親会 18:10~19:30**
**■ 場所 : 富士通株式会社 本社 6 階 ユーザコミュニティサロン プレゼンテーションルーム**
**[東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター]**
**■ 開催趣旨**

本年度の分科会では「学生を ICT でどう支援していくか?」を年間のテーマとして取り上げている。今回の第 1 回会合は、「日常的な学生支援」という視点から先進的な取り組みについての 2 件のご講演と「知的能力の可視化 WG」の成果報告を行っていただく。

最初の 2 件のご講演は、キャンパス内における IC カード利用事例について、信州大学の不破先生と名古屋工業大学の松尾先生にご紹介いただく。両大学では講義での出席情報を利用し、学生支援へと展開されている。共通する点として、それぞれに特色ある取り組みをされており、大学がどのように「学生を支援するか」を改めて考える機会をいただけるものと期待している。また、WG 成果報告についても「ライフログ」を踏まえてのご報告となることから、修学面からの学生支援と位置付けることができるかと考えている。

さらに、今回は「学生を元気にさせる支援」「学生をわくわくさせるキャンパス」という切り口から、共通のテーマについて分科会参加者の皆さままで考える「ワールド・カフェ」を実施する。通常の Q&A やパネル討論とは異なり、参加者の皆様とともに、第 1 回会合のテーマである「日常的な学生支援」について、「集団の知恵」を引き出すことで、課題の認識と新たな展開について相互に理解を深めることができると考えている。

教育環境分科会として新しい取り組みを交え、多くの皆様の参加を得、議論を深める機会としたい。時期的に学会等への参加を予定されている方も多いかと存じますが、是非とも本分科会もご予定に含めていただければ幸いである。

**■ プログラム (予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承下さい。)**

-敬称略-

13:00~	受付
13:30~13:35	開会あいさつ
13:35~14:25 講演 40 分 Q&A 10 分	<b>[1] IC カードによる出席ログを用いた学生のメンタルサポートへの取り組み - 信州大学アンビエントキャンパスの構築 - 不破 泰 (信州大学総合情報センター)</b> 当総合情報センターが取り組んでいるプロジェクトの一つに、ICT 技術を用いた安全・安心なキャンパスの実現がある。その一環として、IC カードを用いた学生の授業への出欠ログを用いて、メンタルサポートが必要な学生を早期に発見するシステムの構築を目指している。予備調査として、既に IC カードを用いた出退勤管理を行っている企業のログからサポートを要する人を発見する手法について検討し、一定の成果を得ている。また、このシステムがサポートが必要な学生にとって受容できる居心地がよいものである必要があることから、「アンビエントキャンパス」という概念のもとに IC カードシステムの評価も行っている。 発表ではシステムについてこれまでの成果を報告するとともに、ICT 技術を用いた安全・安心なキャンパスの実現構想についても紹介する。
14:25~15:15 講演 40 分 Q&A 10 分	<b>[2] IC カード出欠システムを用いた 不登校学生早期把握と災害時人情報把握への取り組み - 名古屋工業大学における ICT による学生支援 - 松尾啓志 (名古屋工業大学情報基盤センター)</b> 名古屋工業大学では、2007 年 4 月より、非接触型 IC カード(フェリカ)を用いた出欠システムを独自開発し、授業の出欠記録に用いている。学生は教室への入室・退出時の 2 回打刻を行い、その打刻データを加工せずにそのまま、データベースに格納し、必要に応じて、後から出欠を推定する出欠システムとして構築した。一人あたりの年間打刻数は学年によって差はあるものの、約 500 打刻となっている。 これらの打刻情報は、いつ、どこに、誰が存在したという情報であるため、単に出欠情報としてだけでなく、(1)授業への出席状況が急激に減少した学生を自動的に検出し、学生支援室に報告するシステム、(2)災害時や緊急時のための、学生登校・在室把握システムも開発し運用している。本講演ではこれらのシステムのシステム構成、導入過程、運用状況について報告する。
15:15~16:05 講演 40 分 Q&A 10 分	<b>[3] ライフログから抽出するジェネリックスキルの可視化モデル ~ 学力ダイアグラムとインテリグラムの提案 ~ [知的能力の可視化 WG 成果報告] 阪井和男 (明治大学)</b> 本 WG では、「学力」のもととなる「知的能力(ジェネリックスキル)」をどのように考え、どう扱えば良いのか。特に大学教育で獲得できる「知的能力」の可視化と評価についての活動を、2010 年からの 2 年間に渡り、行ってきた。 発表では、知的能力の考え方、実際のシラバスや授業シナリオ、学習記録といったライフログからジェネリックスキルの可視化モデルを抽出する 2 つの提案(学力ダイアグラムとインテリグラム)とその適用例について、報告する。

16:05～16:20	休憩
16:20～17:50 Introduction 5分 ワールド・カフェ 60分 総括(発表と講評) 25分	<b>[4] ワールド・カフェ「学生を元気にさせる支援 – 学生をワクワクさせるキャンパス –」</b> <b>ファシリテータ : 阪井和男 (明治大学)</b> 本ワールド・カフェでは、今回のテーマ「学生を ICT でどう支援していくか」での講演を踏まえ、「学生を元気にさせる支援」から、「学生をワクワクさせるキャンパス」を議論し、参加者が理想のキャンパス像、あるいは今回の会合の意味を持ち帰ることを期待している。 今回のワールド・カフェは、あらかじめ参加者をグルーピングし、隣の参加者が自分の最大の教育資源となる「ラーニングの場」かつ、参加者の多様性と「集団の知恵」が生かされる「ラーニングの場」となることを目指す新しい試みとして、実施する。
17:50～17:55	閉会あいさつ
17:55～18:10	休憩 (ニュースレター編集会議・講演者/企画委員)
18:10～19:30	<b>懇親会 (会費 ¥500)</b> お飲物とおつまみの簡易パーティです。お気軽にご参加下さい。会費は当日受付にて申し受けま す。

## ■ アクセス

汐留シティセンタービル オフィスロビーの低層階用エレベータを利用して、直接6階会場へお越し下さい。

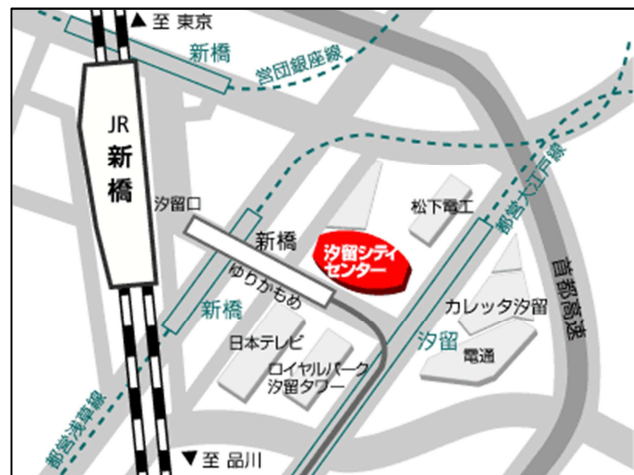
<http://jp.fujitsu.com/facilities/shiodome/>

＜＜電車でのアクセス＞＞

- ・JR 新橋駅:  
汐留口(地下1階)から徒歩3分
- ・東京メトロ 銀座線 新橋駅:  
出口4(地下1階)から徒歩3分
- ・都営地下鉄 浅草線 新橋駅:  
汐留方面出口(地下1階)から徒歩2分
- ・都営地下鉄 大江戸線 汐留駅:  
JR・ゆりかもめ新橋駅方面出口(地下2階)  
から徒歩1分
- ・新交通ゆりかもめ 新橋駅:  
出口1Dから徒歩1分

＜＜羽田空港から新橋駅までのアクセス＞＞

- ・東京モノレールとJR 山手線 :  
羽田空港 から 浜松町 経由 新橋駅 (所要時間約30分)
- ・京浜急行と都営浅草線 (直通電車) :  
羽田空港 から 都営浅草線新橋駅 (所要時間約30分)



## ■ ご参加について

- 参加対象 : SS 研、IS 研、CS 研の各会員機関の方であれば、どなたでもご参加いただけます。
- 参加費 : 無料です。ただし、懇親会については 会費¥500 を申し受けます。
- 定員 : 100名(予定)
- 服装 : スーパークールビズをお勧めします。(室温 28℃)

## ■ 詳細・お申し込み

SS 研 Web サイトからお申し込み下さい。

<http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>



【お問合せ先】サイエンティフィック・システム研究会 (SS 研) 事務局  
〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター  
富士通(株) カスタマーリレーション推進部内 (SS 研)  
TEL : 03-6252-2582(直通) Email:office@sskn.gr.jp  
URL <http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>